(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2020-124572
(P2020-124572A)
(43)公開日　令和2年8月20日(2020.8.20)

(51)Int.Cl.		F I		テーマコード（参考）
A44C 25/00	(2006.01)	A44C 25/00	A	3B114

審査請求 有　請求項の数 1　ＯＬ　（全 4 頁）

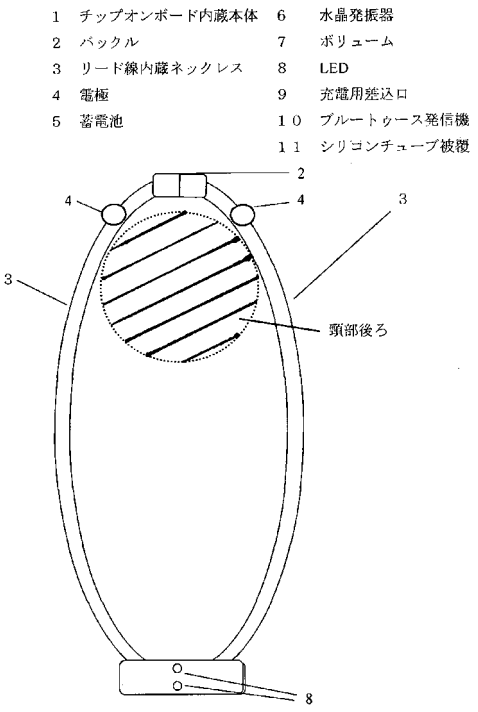
(21)出願番号　特願2020-79935(P2020-79935)
(22)出願日　令和2年4月30日(2020.4.30)
(62)分割の表示　特願2016-224489(P2016-224489)の分割
原出願日　平成28年10月31日(2016.10.31)

(71)出願人　519215692
グロスウェイブ株式会社
青森県青森市けやき２丁目２番１０号
(74)代理人　100131428
弁理士　若山　剛
(72)発明者　堀内　雅哉
青森県青森市けやき２丁目２番１０号

Ｆターム(参考)　3B114 CC07

(54)【発明の名称】α波発振ネックレス

(57)【要約】
【課題】身体、皮膚に負担を負うこと無く容易に装着できるとともに、α波の周波数を電気刺激として神経に伝達することができるネックレスを提供すること。
【解決手段】ネックレスは、環状体を備える。ネックレスは、環状体に設けられた本体に含まれる蓄電池をエネルギー源とし、本体に含まれる水晶発振器にて電気パルスを発振することにより、８ヘルツから１３ヘルツのα波の周波数を有する電気信号を生成する。ネックレスは、生成された電気信号を、頸部裏の後頭部頭蓋骨すぐ下に４ｃｍから６ｃｍの間隔で配置されるように、環状体のうちの本体から最も遠い部分に設けられた一対の電極４を介して出力することにより、頸部より神経へ電気刺激を伝達する。
【選択図】　図１



【特許請求の範囲】
【請求項１】
環状体を備えるネックレスであって、
前記環状体に設けられた本体に含まれる蓄電池をエネルギー源とし、前記本体に含まれる水晶発振器にて電気パルスを発振することにより、８ヘルツから１３ヘルツのα波の周波数を有する電気信号を生成し、
前記生成された電気信号を、頸部裏の後頭部頭蓋骨すぐ下に４ｃｍから６ｃｍの間隔で配置されるように、前記環状体のうちの前記本体から最も遠い部分に設けられた一対の電極を介して出力することにより、前記頸部より神経へ電気刺激を伝達する、ネックレス。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明は、健康若年期の平均α波の電気刺激を発するネックレスに関するものである。
【背景技術】
【０００２】
人間の脳はα波の出現と共にβ－エンドルフィンというホルモンが分泌される、β－エンドルフィンは老化を防止し自然治癒力を高める、すぐれた薬効効果があり、ガンをたたくことで有名なナチュラルキラー細胞がβ－エンドルフィンに触れると幼若化現象、若返りが発生することが顕微鏡でも確認された。
対峙するノルアドレナリンというホルモンは強い毒を持ち老化を促進し病気を誘発するホルモンであるが、β－エンドルフィンの分泌と共に止まる特性がある。
β－エンドルフィンは別名、脳内モルヒネと称されるくらい分泌時には多幸感と沈痛作用、鎮静作用をもたらす。
α波を発生させるには、リラックスするということ、自傷事、きれいと思うものを見聞きする等があるが、個人差があり逆効果を生む場合もある。
経年によりα波の周波数が少なくなり、出現率が減少するという臨床結果もある。
【０００３】
脳波をコントロールするには、ＤＢＳ脳深部刺激療法という神経系の疾病の治療法、頭蓋骨に穴を開け電極を脳深部に埋め込み電気信号を共鳴させる治療法がある、脳は電気刺激に共鳴することを裏付けされたものであるが、未病の人にはリスクが大きすぎる。
【先行技術文献】
【特許文献】
【０００４】
【特許文献１】特表２０１３－５０００５０　電気刺激のための医療用具
【非特許文献】
【０００５】
【非特許文献１】春山茂樹著「脳内革命」サンマーク出版　１９９５年
【非特許文献２】春山茂樹著「脳内革命２」サンマーク出版　１９９６年
【発明の概要】
【発明が解決しようとする課題】
【０００６】
解決する問題点は、不要事に容易に取り外しができることを課題とする。
【課題を解決するための手段】
【０００７】
本発明は、蓄電池を用いコードレスにすることによりネックレスタイプにすることができ、取り付け取り外しが容易にできることを特徴とする。
【発明の効果】
【０００８】
上述したようにα波、β－エンドルフィンを分泌するためには、リラックスする、自傷事、きれいなものを見聞きする等、個人差の発生する方法しかありませんでしたが、本発

明の装身具は的確にα波の周波数を電気刺激として神経に伝達することができ、しかも、身体、皮膚に負担を負うこと無く容易に装着できる。

【０００９】

本発明の効果を確認するために、１０代から８０代、健常者から持病がある方までランダムに選んだ１０人を被験者とし、無音の暗室にて３０分間、本発明による刺激のみ受ける状態で本発明品ネックレスを装着した後、体感、体調を聞き取り調査した。

【００１０】

結果、被験者の約９割の方が、身体が軽くなった、と語った。下記表１に示すように、本発明品の装身具ネックレスタイプを装着することによりα波と共に分泌されるβ－エンドルフィンが顕著に分泌されていることが確認できた。

【表１】

	身体が重くなった	感じなかった	身体が軽くなった
女性１０代A		○	
男性３０代B			○
女性３０代C			○
女性４０代D			○
女性４０代E			○
女性４０代F			○
男性５０代G			○
女性５０代H			○
女性７０代I			○
男性８０代J			○

【図面の簡単な説明】

【００１１】

【図１】ネックレス全体の正面図である。

【図２】本体裏面の図である。

【図３】本体内部の図である。

【発明を実施するための形態】

【００１２】

蓄電池をエネルギー源とし水晶発振器にて電気パルスを発振してボリュームにて電圧を制御し電極にて頸部後ろ側に電気刺激を与える。この電極は、頸部裏の後頭部頭蓋骨すぐ下に４ｃｍから６ｃｍの間隔で配置される。

ブルートゥース（登録商標）で繋がったモバイルのアプリケーションでチューニングし、本体正面のＬＥＤにて動作確認する、以上の蓄電池、水晶発振器、ボリューム、ＬＥＤを基盤に配置して、ＣＯＢチップオンボード化して小型軽量にしてネックレスタイプにする。

【００１３】

全長は４５ｃｍから７０ｃｍでネックレスチェーン部はシリコーンゴムチューブにて被覆する。

【００１４】

出力はα波の範囲の８ヘルツから１３ヘルツを、人間の脳が常時出している３０マイクロボルトから１２０マイクロボルトで、ブルートゥースで繋がれたモバイルのアプリケーションによりチューニングして出力する。

【実施例１】

【００１５】

本体の電源を入れ、出力、ＬＥＤの点灯オンオフ、ＬＥＤの点灯パターンをチューニングして首から下げる。

【産業上の利用可能性】

【００１６】

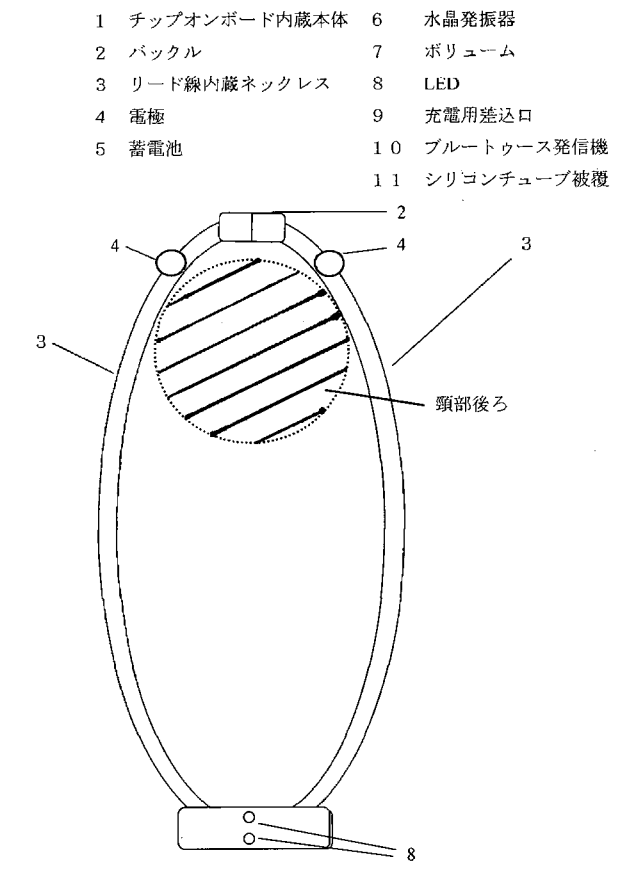
軽量でネックレスタイプなので、入浴時以外は年齢性別問わず装着適用できる。

【符号の説明】

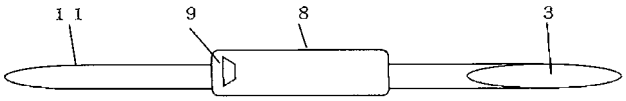
【００１７】

１	チップオンボード内蔵本体	６	水晶発振器
２	バックル	７	ボリューム
３	リード線内蔵ネックレス	８	ＬＥＤ
４	電極	９	充電用差込口
５	蓄電池	１０	ブルートゥース発信機
１１	シリコンチューブ被覆		

【図１】



【図２】



【図３】

